

報道関係者各位

2026 年 7 月 15 日
株式会社オーケーウェブ**生成 AI 時代だからこそ「人の繋がり」を。Q&A コミュニティ OKWAVE、独自のテーマで深く交流できる新たな「コミュニティ機能」を本日提供開始**

「社会のウェルビーイング向上のため、世界中の『ありがとう』の物語を蓄積し、可視化する」をパーパスに掲げる株式会社オーケーウェブ（本社：東京都港区、代表取締役：杉浦 元、以下「オーケーウェブ」）は、運営する Q&A サイト「OKWAVE」において、ユーザー同士が特定のテーマや共通の関心事で深く繋がることができる、新たな「コミュニティ機能」を 2026 年 7 月 15 日（水）より提供開始いたします。

[コミュニティ機能を見る](#)**背景**

生成 AI の急速な普及により、インターネット上での「情報収集（答えの検索）」は圧倒的に便利で効率的なものになりました。しかしその反面、効率性が重視される中で、人間同士の偶発的な出会いや、感情の通った深いコミュニケーションの機会は減少傾向にあります。

「正しいデータや答え」を AI が瞬時に出せる時代だからこそ、人間特有の「共感」「体験の共有」「共通の趣味での繋がり」という価値がかつてないほど見直されています。オーケーウェブは、AI 時代において人々が孤独から解放され、本音で言葉を交わせる「心の通う居

場所（サードプレイス）」を提供すべく、本コミュニティ機能を開発いたしました。

代表コメント

生成 AI の進化によって、私たちは「答え」を手に入れることは、これまでになく簡単になりました。しかし一方で、人が本当に求めているものは、答えそのものだけではありません。答えが一瞬で手に入る時代になったからこそ、人と人が繋がり、共感し、『ありがとう』を交わし合い、共創できる関係性を育むことの価値は、これまで以上に重要になっていくと私たちは考えています。誰かの体験に共感したり、誰かの挑戦を応援したり、自分の小さな貢献に「ありがとう」が返ってきたりすること。そうした関係性の中で生まれる喜びや安心感、温かみは、AI がどれほど進化しても代替できない、人間ならではの価値であり、人間らしさそのものだと考えています。

OKWAVE は 27 年間、そうした関係性を育み、「助け合い」と「ありがとう」が自然に循環するコミュニティを築いてきました。今回のコミュニティ機能は、その歴史を受け継ぎながら、共通の関心や目的を持つ人々が集い、対話し、互いに貢献し合い、新たな価値を共創していくための新しい基盤であり、AI 時代における新たな「心の通う居場所」です。

私たちは、AI が人の可能性を広げる時代だからこそ、人と人との関係性が生み出す価値を信じています。このコミュニティを通じて、「ありがとう」の物語が日々生まれ、蓄積され、可視化されることで、人と人との関係性が育まれ、共創が自然に生まれる社会の実現に挑戦してまいります。

新たな「コミュニティ機能」の 3 つの特徴

① 関心で繋がる「テーマ特化型コミュニティ」への参加・投稿

趣味、キャリア、ライフスタイル、ライフイベントなど、共通の文脈を持つユーザー同士が集まる空間です。OKWAVE 上には多様なテーマのコミュニティが生まれ、誰でも自由に参加できるオープンなコミュニティから、承認されたメンバーだけが集う完全招待制のクローズドなコミュニティまで、目的に応じた公開範囲を選ぶことができます。従来の一問一答形式の Q&A にとどまらず、気軽な雑談や継続的な情報交換が可能になり、ユーザー同士の深い関係性を醸成します。

② 【信頼の場作り】SMS 認証の導入と、確実なモデレーションによる「一歩進んだ安心安全」

インターネット上の匿名コミュニケーションにおける最大の課題である「誹謗中傷」や「荒らし行為」「アカウントの不正量産」を根本から防ぐため、本機能では投稿時に「SMS（電話番号）認証」を必須といたしました。身元が担保された信頼できるユーザー同士が集まる

ことで、OKWAVE が長年培ってきた通報・目視巡回・管理ツールによる秩序維持の仕組みがさらに強固に機能します。誰もが心理的障壁なく、安心して発言できるクリーンな環境を実現します。

③ 貢献度が可視化されるインセンティブ設計

コミュニティの活性化に貢献したユーザーや、他の参加者に有益な情報を提供した優れたユーザーに対しては、独自のポイントやステータスを付与します。

何をもって「貢献」とするかは各コミュニティのオーガナイザーが自ら定義できるため、その場の目的や文化に即した、しなやかなインセンティブ設計が可能です。そして、そのすべての土台にあるのが、OKWAVE が 27 年間育んできた「助け合い」と「ありがとう」が自然に生まれるコミュニケーション文化です。この共通の土壌があるからこそ、良質なコミュニケーションが自発的に循環するエコシステムが成り立ちます。

今後の展開：2026 年秋に「コミュニティ作成・運営機能」を一般開放予定

今回の先行リリース（第 1 弾）では、初期のクオリティと安全性を担保するため、運営側が厳選したコミュニティの提供からスタートします。

その後、ユーザーからのフィードバックをもとに UI/UX のブラッシュアップを重ね、**2026 年秋には、すべての一般ユーザーが自らコミュニティを開設・運営できる「コミュニティ作成・運営機能」を全面開放**いたします。これにより、ユーザー自身が独自のルール設定やモデレーション（適切な運営管理）を行う、真に自律した次世代のコミュニティプラットフォームへと進化を遂げてまいります。

株式会社オーケーウェブについて

株式会社オーケーウェブ（証券コード：3808）は、「社会のウェルビーイング向上のため、世界中の『ありがとう』の物語を蓄積し、可視化する」ことをパーパスに掲げ、お互いを助け合う（互助）プラットフォームの運営と、互助の絆や関係性を作るサービスを提供しています。

Q&A 形式のコミュニティサイト『[OKWAVE](#)』の運営を軸に、ユーザー参加型のサポートコミュニティ『[OKWAVE Plus](#)』を企業や地方自治体向けに提供するほか、700 社以上の導入実績のあるクラウドサンクスカード『[GRATICA](#)』を展開しています。

また、メディアサービスでは『[OKWAVE media](#)』を中心に、強いドメインパワーを活かした記事制作・配信を展開し、企業や団体の広報・PR 活動を支援しています。

代表者：代表取締役社長 杉浦 元

本社所在地：東京都港区芝 4 丁目 4 - 5 三田 KM ビル 5 階

URL： <https://okweb.co.jp/>

本件に関するお問い合わせ先

株式会社オーケーウェブ

事業推進グループ

E-mail： sales_okwaveplus@ml.okwave.co.jp

なお、こうしたコミュニティに集まる生活者の自然な交流や声は、企業が顧客との継続的な関係を築き、ファンとの共創を進めていく上でも有効です。互いの助け合いをベースとしたコミュニティの形成を通じて、企業・自治体・地域・様々なコミュニティにおいて、人々との関係性から新たな価値が生まれる『共創共同体』の形成を支援し、社会のウェルビーイング向上に貢献してまいります。

※記載されたサービス名称、製品名は各社の登録商標または商標です。

※ここに掲載されている情報は、発表日現在の情報です。最新の情報と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。